

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

この研究のために自分の情報の使用を拒否される方は、問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	Stage IV 胃がんにおける Conversion therapy (Adjuvant surgery) の意義に関する国際多施設共同後ろ向き研究
研究機関名	静岡県立総合病院
研究機関の長	田中一成
研究責任者	・ 当院研究責任者 消化器外科 渡邊昌也 ・ 研究全体の代表者 FACO(Federation of Asia Clinical Oncology) 吉田和弘 (岐阜大学医学部腫瘍外科)
研究期間	2016年4月1日から2023年12月31日(データ集積期間12ヶ月)
対象者	2001年1月1日から2014年12月31日までに、StageIV胃癌(離れた臓器に転移のある胃癌)に対して、化学療法を行った後に手術を受けられた患者様を対象にしています。
当該研究の意義・目的	近年、StageIV胃癌に対して化学療法を行い、効果がみられた場合に手術を行うことで、胃癌の治療成績が向上する可能性があることがわかってきています。本研究の目的はアジア(日本、韓国、中国)における、StageIV胃癌に対して化学療法後に手術を行う治療法の現状を明らかにすること、この治療法の妥当性を検証すること、将来的な意義を明らかにする研究の基礎的データを収集することです。
方法	対象となる患者様の診療録(カルテ)から次の情報を調査します。 ・ 背景因子(生年月日、年齢、性別など)、 ・ 臨床データ(画像検査結果、病理検査結果、化学療法や手術の詳細など) ・ 転帰(再発・生存の有無など) 全ての患者様のデータは、岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進センターに集積します。
個人情報の取扱い	研究により得られた情報を取扱う際は、患者様の秘密保護に十分配慮します。この研究では診療録から収集した情報を外部の研究機関へ提供しますが、提供する情報には、住所や氏名など患者様個人が特定される情報は含みません。 研究結果を専門の学会や学術雑誌に発表することがありますが、その際にも患者様が特定されないよう個人に関する情報は

	一切公表しません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
間合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 消化器外科 渡邊昌也 代表 054-247-6111